

本文

春暁 孟浩然

〔白文〕

春眠①不覚暁
処処②聞啼鳥
夜来③風雨声
花落④知多少

〔書き下し文〕

春眠①暁を覚えず

処処②啼鳥を聞く

夜来③風雨の声

花落つること④知んぬ多少ぞ

※読みの確認：春暁（しゅんぎょう）／春眠（しゅんみん）／暁（あかつき）／処処（しよしよ）／啼鳥（ていちよう）／夜来（やらい）／風雨（ふうう）。書き下しの「覚えず」は「おぼえず」と読みます。

設問

次の各問いに答えなさい。傍線部①～④は本文中の位置を示しています。

- この詩の形式を、漢字四字で答えなさい。
- この詩の形式について、次の問いに答えなさい。
 - 一句が何字で構成されているか、漢数字で答えなさい。
 - 全部で何句から成るか、漢数字で答えなさい。
- この詩で押韻している漢字を、本文中からすべて抜き出しなさい。
- 近体詩で、五言絶句が押韻する位置の原則を、簡潔に説明しなさい。
- 第一句「春眠不覚暁」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。
- 傍線部①「不覚」は「覚えず」と書き下す。ここでの「覚」の意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 - ア 目をさます イ 気がつく ウ 覚悟する エ 暗記する
- 第二句「処処聞啼鳥」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。
- 傍線部②「処処」の読みと意味を答えなさい。
- 「啼鳥」とはどのような意味か、答えなさい。
- 第三句「夜来風雨声」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。
- 傍線部③「夜来」の意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 - ア 夜が来るところ イ 昨夜から ウ 夜どおし未来へ エ 夜ごとに
- 第四句「花落知多少」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。

13. 傍線部④「知多少」は「知んぬ多少ぞ」と書き下す。「多少」がここで表している意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
- ア 多いか少ないか イ どれほどか（数量への問いかけ） ウ 多くもなく少なくもない
 - エ いくらか（わずかに）
14. 「知多少」のように、文末で疑問・詠嘆の気持ちを表す表現を何というか。次から最も適切なものを一つ選びなさい。
- ア 使役 イ 受身 ウ 疑問（反語をふくむ） エ 比較
15. 「春眠不覚暁」の「不」のように、下の語を打ち消す働きをもつ字を何というか。漢字二字で答えなさい。
16. 「不覚暁」に返り点を付けると「不」を最後に読む。「不覚暁」を読む順に従って書き下したのものとして正しいものを、次から一つ選びなさい。
- ア 暁を覚えず イ 覚えず暁を ウ 暁不を覚え エ 覚え暁を不
17. この詩には、起承転結の構成上「転句」にあたる句がある。それは第何句か、漢数字で答えなさい。
18. この詩全体の主題（作者が表現しようとしたこと）として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
- ア 戦乱の世をなげく気持ち
 - イ 春の朝ののどかでけだるい心地と、散った花を惜しむ気持ち
 - ウ ふるさとを遠くはなれた旅のさびしさ
 - エ 友人との別れのつらさ
19. 第三句・第四句から読み取れる、作者の心情を説明しなさい。
20. この詩は、目に見える景色だけでなく「耳で聞いた音」を多く詠みこんでいる点に特徴がある。詩中で「音・声」に関係する語を、本文中から二つ抜き出しなさい。
21. 作者の孟浩然について、次の問いに答えなさい。
- 孟浩然が活躍したのは、唐のどの時期か。最も適切なものを次から選びなさい。（ア 初唐 イ 盛唐 ウ 中唐 エ 晩唐）
 - 孟浩然は、ある詩人と作風が近く「王孟」と並び称された。その詩人とは誰か、答えなさい。
22. 孟浩然は、どのような題材をえがいた詩人として知られているか。最も適切なものを次から一つ選びなさい。
- ア 戦場をえがく辺塞（へんさい）の詩 イ 自然や田園の風景をえがく詩 ウ 宮廷の華やかさをえがく詩
 - エ 酒と豪快さをうたう詩